



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 大幸薬品株式会社

コード番号 4574 URL <http://www.seirogan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴田 高

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務担当 (氏名) 本間 豪 TEL 06-4391-1123

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	3,825	5.3	644	28.1	603	57.7	448	62.3
2018年3月期第2四半期	3,634	22.0	502	6.0	382	20.1	276	8.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 425百万円 (67.0%) 2018年3月期第2四半期 255百万円 (66.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	31.43	31.37
2018年3月期第2四半期	19.54	19.47

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	19,911	16,636	83.3
2018年3月期	20,472	16,419	80.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 16,594百万円 2018年3月期 16,371百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年3月期	—	10.00			
2019年3月期（予想）			—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,360	△1.1	1,630	△12.2	1,430	△8.8	1,010	△7.8	70.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	14,324,700株	2018年3月期	14,237,500株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	21株	2018年3月期	19株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	14,253,831株	2018年3月期2Q	14,126,814株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、医薬品事業が減収となった一方で感染管理事業が大幅に増収となったこと等から、対前年同期比5.3%増の3,825百万円となりました。売上総利益につきましては、増収影響等から、対前年同期比7.4%増の2,638百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費につきましては、マーケティング部門の人員強化等による人件費の増加等により、対前年同期比2.1%増の1,993百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益につきましては、対前年同期比28.1%増の644百万円となりました。経常利益につきましては、京都工場・研究開発センターにおける未稼働設備関連費用の減少や為替差益の計上等により増益幅が拡大し、対前年同期比57.7%増の603百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、対前年同期比62.3%増の448百万円となりました。

セグメント別の経営成績につきましては以下の通りであります。

## (医薬品事業)

医薬品事業につきましては、対前年同期比5.3%減の2,500百万円の売上高となりました。

国内向けの売上高につきましては、前第1四半期連結会計期間に「正露丸クイックC」を初期出荷した反動等により、対前年同期比で減少となりました。

海外向けの売上高につきましては、中国市場向け、香港市場向け及び台湾市場向けの出荷時期が第3四半期連結会計期間以降となったこと等から、対前年同期比で減少となりました。

セグメント損益につきましては、減収影響があったものの広告宣伝費等が減少したことにより、対前年同期比0.6%増の1,013百万円の利益となりました。

## (感染管理事業)

感染管理事業につきましては、対前年同期比34.3%増の1,315百万円の売上高となりました。

国内一般用製品の売上高につきましては、製品デザインのリニューアルに伴う販促強化により店頭の陳列スペースが拡大し出荷が大幅に増加したこと等から、対前年同期比で増加となりました。なお、新製品「クレベリン スティック ディズニードesign」、「クレベリン×ベアブリック トイ・ストーリーキャラクターデザイン」も増収に寄与しました。

国内業務用製品の売上高につきましては、株式会社デンソーと共同開発した「クレベリンカートリッジ(車専用)」について前年同期に販売店においてキャンペーンを実施した反動等により、対前年同期比で減少となりました。

海外向けの売上高につきましては、中国市場における新規販売代理店のテストマーケティング用の出荷があったこと等から、対前年同期比で増加となりました。

セグメント損益につきましては、増収影響等により、対前年同期比131.7%増の157百万円の利益となりました。

## (その他事業)

その他事業につきましては、主に木酢液を配合した入浴液や園芸用木酢液等の製造販売を行い、売上高は対前年同期比29.7%減の10百万円となり、セグメント損益につきましては、18百万円の損失(前年同期は7百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は19,911百万円(前連結会計年度末比560百万円減)となりました。負債合計は3,275百万円(同778百万円減)、純資産合計は16,636百万円(同217百万円増)となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は、現金及び預金の減少等による流動資産903百万円の減少、未払法人税等及び未払金の減少等による流動負債787百万円の減少等であります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末から3.3ポイント上昇し83.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）が前連結会計年度末より1,101百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は、5,446百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は231百万円（前年同期は1,228百万円の使用）となりました。主に税金等調整前四半期純利益614百万円、減価償却費219百万円等の増加要因の一方で、賞与引当金の減少額212百万円、役員賞与引当金の減少額82百万円、法人税等の支払額280百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,107百万円（前年同期は65百万円の使用）となりました。主に投資有価証券の取得による支出725百万円、有形固定資産の取得による支出232百万円、無形固定資産の取得による支出118百万円等の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は217百万円（前年同期は269百万円の使用）となりました。主に配当金の支払額355百万円等の減少要因によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、2018年5月11日に公表致しました予想値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,547,511	5,490,922
受取手形及び売掛金	3,385,102	3,239,386
商品及び製品	834,076	1,010,620
仕掛品	439,313	479,627
原材料及び貯蔵品	251,245	263,273
その他	130,208	200,154
貸倒引当金	△23,500	△23,500
流動資産合計	11,563,956	10,660,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,241,590	3,144,954
機械装置及び運搬具(純額)	539,008	513,728
土地	2,108,947	2,108,947
建設仮勘定	1,744,806	1,754,600
その他(純額)	260,937	269,489
有形固定資産合計	7,895,290	7,791,720
無形固定資産	92,219	186,133
投資その他の資産		
投資有価証券	332,163	743,255
その他	589,122	530,241
投資その他の資産合計	921,285	1,273,497
固定資産合計	8,908,795	9,251,352
資産合計	20,472,752	19,911,838
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,484	728,640
未払金	1,296,184	748,747
未払法人税等	332,529	135,431
返品調整引当金	150,000	203,000
賞与引当金	278,497	65,630
役員賞与引当金	82,382	—
その他	252,129	147,671
流動負債合計	2,816,207	2,029,122
固定負債		
長期末払金	562,700	549,500
退職給付に係る負債	654,724	677,343
その他	19,555	19,043
固定負債合計	1,236,979	1,245,886
負債合計	4,053,186	3,275,008
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	683,130	759,430
資本剰余金	889,518	965,818
利益剰余金	14,662,917	14,754,990
自己株式	△21	△25
株主資本合計	16,235,544	16,480,213
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	136,371	114,286
その他の包括利益累計額合計	136,371	114,286
新株予約権	47,648	42,329
純資産合計	16,419,565	16,636,829
負債純資産合計	20,472,752	19,911,838

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	3,634,814	3,825,730
売上原価	1,166,296	1,134,694
売上総利益	2,468,517	2,691,036
返品調整引当金戻入額	129,000	150,000
返品調整引当金繰入額	142,000	203,000
差引売上総利益	2,455,517	2,638,036
販売費及び一般管理費	1,952,693	1,993,841
営業利益	502,823	644,194
営業外収益		
受取利息	681	1,886
受取配当金	1	4,521
為替差益	—	33,122
受取賃貸料	9,605	9,570
その他	1,849	3,561
営業外収益合計	12,138	52,664
営業外費用		
為替差損	4,244	—
賃貸費用	2,340	2,323
未稼働設備関連費用	124,289	89,457
その他	1,373	1,499
営業外費用合計	132,248	93,280
経常利益	382,713	603,577
特別利益		
投資有価証券売却益	—	500
補助金収入	19,270	10,730
特別利益合計	19,270	11,230
税金等調整前四半期純利益	401,983	614,807
法人税、住民税及び事業税	79,886	111,035
法人税等調整額	45,989	55,762
法人税等合計	125,876	166,798
四半期純利益	276,107	448,009
親会社株主に帰属する四半期純利益	276,107	448,009

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	276,107	448,009
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△21,090	△22,085
その他の包括利益合計	△21,090	△22,085
四半期包括利益	255,016	425,924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,016	425,924



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	401,983	614,807
減価償却費	222,633	219,961
補助金収入	△19,270	△10,730
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	24,655	22,618
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	13,000	53,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△139,734	△212,933
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56,104	△82,382
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,000	—
受取利息及び受取配当金	△683	△6,408
為替差損益 (△は益)	△159	△10,537
売上債権の増減額 (△は増加)	△943,993	118,504
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△276,264	△229,282
仕入債務の増減額 (△は減少)	334,079	324,834
未払金の増減額 (△は減少)	△60,734	△100,516
未払又は未収消費税等の増減額	△251,769	△28,463
その他	△165,643	△167,177
小計	△910,004	504,795
利息及び配当金の受取額	676	6,725
法人税等の支払額	△319,456	△280,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,228,784	231,461
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△43,842
有形固定資産の取得による支出	△74,688	△232,280
無形固定資産の取得による支出	△10,347	△118,348
投資有価証券の取得による支出	—	△725,033
投資有価証券の売却による収入	—	500
補助金の受取額	19,270	10,730
その他	228	881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,537	△1,107,392
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△8,035	△9,164
配当金の支払額	△282,277	△355,485
新株予約権の行使による株式の発行による収入	20,646	147,280
自己株式の取得による支出	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269,666	△217,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,242	△7,919
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,589,230	△1,101,223
現金及び現金同等物の期首残高	6,803,006	6,547,511
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,213,775	5,446,287

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号 2018年1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を2018年4月1日以後適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号 2005年12月27日)等に準拠した会計処理を行うことと致しました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,641,258	979,255	14,300	3,634,814	—	3,634,814
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,641,258	979,255	14,300	3,634,814	—	3,634,814
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,007,863	67,944	△7,724	1,068,082	△565,258	502,823

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬品事業	感染管理事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,500,181	1,315,493	10,055	3,825,730	—	3,825,730
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,500,181	1,315,493	10,055	3,825,730	—	3,825,730
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	1,013,758	157,408	△18,817	1,152,349	△508,155	644,194

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。